

- 床精神薬理 11(2): 329-342, 2008.
- 5) 和田 清: 薬物依存を理解するー「乱用ー依存ー中毒」という関係性の中で理解することの重要性ー. 日本アルコール精神医学雑誌 14(2): 39-47, 2008.
  - 6) 和田 清: 心の健康をめざした薬物乱用防止教育を. 特集 今こそ薬物乱用防止教育・指導の徹底を!. 心とからだの健康 13(133): 14-18, 2009.
  - 7) 和田 清, 尾崎 茂, 近藤あゆみ: 薬物乱用・依存の今日の状況と政策的課題. 日本アルコール・薬物医学会雑誌 43(2): 120-131, 2008.
  - 8) QUESTION & ANSWER Q 大麻が心身に与える影響について教えてくださいー A 大麻とは. 健 37(12): 10-12, 2009.
  - 9) 物質関連障害の診断基準をめぐってーDSM-IV, ICD-10 診断における妥当性についてー. 日本アルコール精神医学雑誌 14(1): 19-26, 2007.
  - 10) 尾崎 茂: III. 副作用各論ー重大な副作用ー精神神経系, 薬物依存. 「医薬品副作用学ー薬剤の安全使用アップデートー». 日本臨床 65 (増刊号): 357-361, 2007.
  - 11) 尾崎 茂: 覚せい剤依存症の疫学的研究. 最新精神医学 14(2): 133-138, 2008.
  - 12) 福永龍繁, 重田聡男: 東京都 23 区における死因究明の現状. 日本医事新報 4355: 81-84, 2007.
  - 13) 福永龍繁, 谷藤隆信, 加藤幸久, 景山則正, 門馬康彦, 土橋利津子, 呂彩子: 東京都 23 区における一酸化炭素中毒の行政解剖例の検討. 法医学の実際と研究 50: 265-271, 2007.
  - 14) 福永龍繁, 谷藤隆信, 井上顕, 呂彩子: 監察医からみた自殺. 精神科 10(6): 450-455, 2007.
  - 15) 福永龍繁, 呂彩子: アルコールと突然死ー大酒家突然死症候群. 医学のあゆみ 222(9): 648-654, 2007.
  - 16) 嶋根卓也, 和田 清: 定時制高校生における飲酒・喫煙・薬物乱用の実態について. 日本アルコール・薬物医学会雑誌 42(3): 152-164, 2007.
  - 17) 嶋根卓也, 森田展彰: 思春期における健康問題: 薬物乱用. 小児内科 39(9): 1371-1374, 2007.
  - 18) 嶋根卓也: 薬物依存症治療の新しい挑戦. 龍谷大学矯正・保護研究センター研究年報, 第 5 号, p41-53, 2008.
  - 19) 嶋根卓也, 和田清: 定時制高校生における薬物乱用と問題行動との関連. 日本社会精神医学会, 17(3), 233-244. 2009.
  - 20) 宮永耕: 薬物依存者処遇におけるサービスプロバイダとしての治療共同体について: 龍谷大学矯正・保護研究センター研究年報 5: 現代人文社. 19-39, 2008
  - 21) 宮永耕: 覚せい剤依存者の地域生活移行支援: 最新精神医学 14(2): 171-176, 2009
  - 22) Matsumoto T, Imamura F: Self-injury in Japanese junior and senior high-school students: Prevalence and association with substance use. *Psychiatry and clinical neurosciences* 62: 123-125, 2008
  - 23) Kobayashi O, Matsumoto T, Otsuki M, Endo K, Okudaira K, Wada K, Hirayasu Y: Profiles Associated with Treatment Retention in Japanese Patients with Methamphetamine Use Disorder: A Preliminary Survey. *Psychiatry and clinical neurosciences* 62: 526-532, 2008
- ### 3. 学会発表
- 1) 和田 清, 尾崎 茂, 近藤あゆみ: シンポジウム: アルコール・薬物 (脱法ドラッグを含む) 依存をめぐる社会的諸問題と各機関の連携. 「実態調査から見た今日の違法薬物乱用状況」. 第 42 回日本アルコール・薬物医学会. 大津. 2007. 9. 28.
  - 2) 尾崎 茂, 和田 清: 薬物関連精神障害患者における併存障害について. 第 42 回日本アルコール・薬物医学会総会, 2007/9/29, ピアザ淡海, 大津.
  - 3) 福永龍繁: 医療関連死の責任ある対応. 第 91 次日本法医学会総会 (秋田), シンポジウム, 2007. 4.
  - 4) 井上顕, 福永龍繁, 阿部俊太郎, 那谷雅之: 自殺と失業の相関ー1985ー2002 年の日本における調査より. 第 91 次日本法医学会総会 (秋田), 2007. 4.
  - 5) 谷藤隆信, 阿部伸幸, 呂彩子, 景山則正, 小金井英希, 熊谷哲雄, 岩本正男, 重田聡男, 福永龍繁: IT の法医学への応用: (1) ファイルサー

- バーと文書管理ソフトを用いた鑑定書の電子管理. 第91次日本法医学会総会(秋田), 2007. 4.
- 6) 福永龍繁, 重田聡男, 金涌佳雅, 松井健一, 景山則正, 呂彩子: 監察医務機関から「診療行為に関連した死因の調査分析モデル事業」に参加して. 第8回日本法医学会北日本地方会, 第94回談話会(仙台), 2007. 10.
- 7) 嶋根卓也, 和田清, 江頭伸昭, 三島健一, 藤原道弘: 大学新入生における飲酒・喫煙・薬物乱用経験率の推移について. 第42回日本アルコール・薬物医学会総会, 大津, 2007. 9. 28-29.
- 8) 嶋根卓也, 和田清, 三島健一, 藤原道弘: 大学新入生における薬物乱用リスクと危険飲酒行動との関連. 日本アルコール・薬物医学会雑誌. 43(4):646-647. 第43回日本アルコール・薬物医学会総会, 横浜, 2008. 9. 18-19.
- 9) 嶋根卓也, 鈴木雅子: 高校生における薬物乱用のハイリスクグループの特徴-反社会行動との関連から-. 55(10):556. 第67回日本公衆衛生学会総会, 福岡, 2008. 11. 5-7.
- 10) 鈴木雅子, 嶋根卓也: 高校生における薬物乱用のハイリスクグループの特徴-食行動異常との関連から-. 55(10):556. 第67回日本公衆衛生学会総会, 福岡, 2008. 11. 5-7.

#### G. 知的財産権の出願・登録状況

なし

## (別添 4)

## 研究成果の刊行に関する一覧表

## 書籍

著者氏名	論文タイトル名	書籍全体 編集者名	書籍名	出版社名	出版 地	出版年	ページ
尾崎 茂、 栗坪千明、 幸田 実、 小松崎未 知、近藤あ ゆみ、関 紳一、高橋 郁絵、松 本俊彦、三 井敏子、和 田 清			ご家族の薬物 問題でお困り の方へ	発行：厚生労 働省医薬食 品局監視指 導・麻薬対策 課。制作作 成：再乱用防 止資料編集 委員会。		2007	
和田 清	第9章第2節 9-2-9 薬物依存	編集 精神保 健福祉白書 編集委員会	精神保健福祉 白書2008年版	中央法規出 版株式会社	東京	2007.12.10.	174-174
和田 清	Ⅲ. 思春期の保健 薬物の乱用・依存・ 中毒	思春期医学 臨床テキスト	日本小児科学 会編(監修 別 所文雄、五十嵐 隆)	診断と治療 社	東京	2008.4.25.	76-80
和田 清	第8章第2節 8-2-9 薬物依存	編集 精神保 健福祉白書 編集委員会	精神保健福祉 白書2009年版	中央法規出 版株式会社	東京	2008.12.1.	155-155
嶋根卓也	青少年の薬物乱用	林謙治	青少年の健康 リスク-喫煙、 飲酒および睡 眠障害の全国 調査から-	自由企画・出 版	東京	2008	97-107
松本俊彦	思春期と薬物乱用	中根晃・牛島 定信・村瀬嘉 代子	詳解 子どもと 思春期の精神 医学	金剛出版	東京	2008	89-96

## 雑誌

発表者名	論文タイトル名	発表紙名	巻	ページ	出版 年
和田 清、尾崎 茂	5. 薬物依存形成	臨床精神医学	第36巻 増刊号	292-298	2007
村崎光邦、石郷岡 純、稲垣 中、亀井 雄一、田島 治、松 本俊彦、和田 清	適正使用のために 座談会記録 うつ病患者におけるリタリンから の離脱について	ノバルティスファーマ株式会 社	(小冊子)		2007

和田 清 (監修)	適正使用のために 薬物依存とリタリン	ノバルティスファーマ株式会社	(小冊子)		2007
村崎光邦、石郷岡純、稲垣 中、亀井雄一、田島 治、松本俊彦、和田 清	座談会 うつ病患者におけるリタリンからの離脱について	臨床精神薬理	11(2)	329-342	2008
和田 清	薬物依存を理解するー「乱用ー依存ー中毒」という関係性の中で理解することの重要性ー	日本アルコール精神医学雑誌	14(2)	39-47	2008
和田 清	心の健康をめざした薬物乱用防止教育を、特集。今こそ薬物乱用防止教育・指導の徹底を！	心とからだの健康	13 (133)	14-18	2009
和田 清、尾崎茂、近藤あゆみ	薬物乱用・依存の今日的状況と政策的課題	日本アルコール・薬物医学会雑誌	43(2)	120-131	2008
和田 清	QUESTION & ANSWER Q 大麻が心身に与える影響について教えてくださいー A 大麻とは	健	37(12)	10-12	2009
尾崎 茂	物質関連障害の診断基準をめぐってーDSM-IV、ICD-10 診断における妥当性についてー。	日本アルコール精神医学雑誌	14(1)	19-26	2007
尾崎 茂	Ⅲ. 副作用各論ー重大な副作用ー精神神経系、薬物依存。「医薬品副作用学ー薬剤の安全使用アップデートー」	日本臨床	65 巻増 刊号	357-361	2007
尾崎 茂	覚せい剤精神疾患の疫学的研究	最新精神医学	14(2)	133-138	2008
福永龍繁、重田聡男	東京都 23 区における死因究明の現状	日本医事新報	4355	81-84	2007
福永龍繁、谷藤隆信、加藤幸久、景山則正、門馬康彦、土橋利津子、呂彩子	東京都 23 区における一酸化炭素中毒の行政解剖例の検討	法医学の実際と研究	50	265-271	2007
福永龍繁、谷藤隆信、井上顕、呂彩子	監察医からみた自殺	精神科	10(6)	450-455	2007
福永龍繁、呂彩子	アルコールと突然死ー大酒家突然死症候群	医学のあゆみ	222(9)	648-654	2007
嶋根卓也、和田 清	定時制高校生における飲酒・喫煙・薬物乱用の実態について	日本アルコール・薬物医学会雑誌	42(3)	152-164	2007
嶋根卓也、森田展彰	思春期における健康問題:薬物乱用	小児内科	39(9)	1371 -1374	2007
嶋根卓也	薬物依存症治療の新しい挑戦	龍谷大学矯正・保護研究センター研究年報	第 5 号	41-53	2008
嶋根卓也、和田清	定時制高校生における薬物乱用と問題行動との関連	日本社会精神医学会	17(3)	233-244	2009

宮永 耕	薬物依存者処遇におけるサービス プロバイダとしての治療共同体に ついて	龍谷大学矯正・保護研究セン ター研究年報	第5号	19-39	2008
宮永 耕	覚せい剤依存者の地域生活移行支 援	最新精神医学	14 (2)	171-176	2009
Matsumoto T, Imamura F	Self-injury in Japanese junior and senior high-school students: Prevalence and association with substance use.	<i>Psychiatry and clinical neurosciences</i>	62	123-125	2008
Kobayashi O, Matsumoto T, Otsuki M, Endo K, Okudaira K, Wada K, Hirayasu Y	Profiles Associated with Treatment Retention in Japanese Patients with Methamphetamine Use Disorder: A Preliminary Survey.	<i>Psychiatry and clinical neurosciences</i>	62	526-532	2008

平成19～20年度厚生労働科学研究費補助金  
(医薬品・医療機器等レギュラトリーサイエンス総合研究事業)

薬物乱用・依存等の実態把握と  
「回復」に向けての対応策に関する研究  
(H19-医薬-一般-025)

平成19～20年度  
総合研究報告書

研究代表者：和田 清（国立精神・神経センター 精神保健研究所）

2009年3月31日 発行